

第5次熊野町総合計画（基本構想）を可決 「ひとまち育む筆の都熊野」を目指して！

を可決

質疑応答

Q 10年後の目標人口2万5千人を下回ることがあれば、計画の変更も行っていく必要があると思うがどうか。また、事業の優先順位は。

A 人口減少に対しては、子育てや教

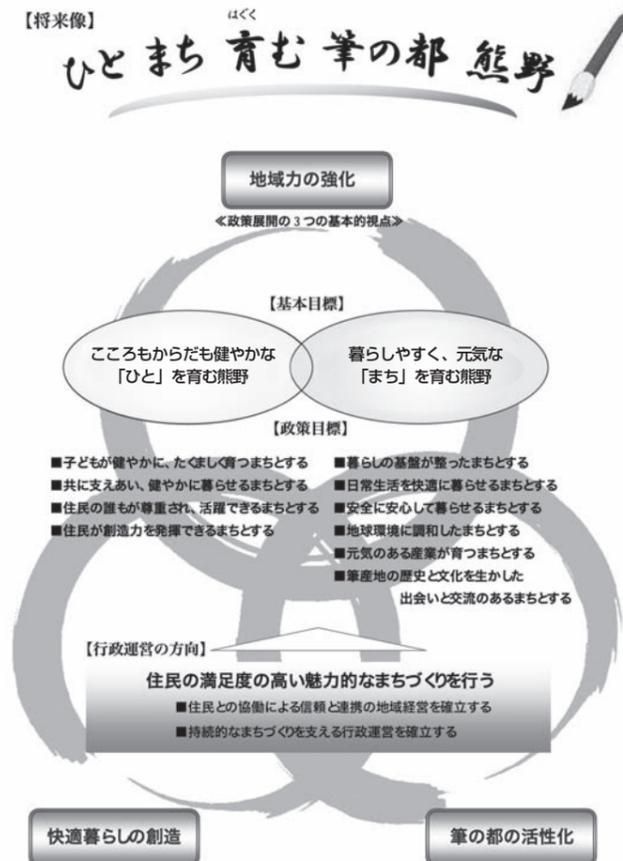
育の充実などで食い止めていきたいが、今後減少が急激に進む場合、修正を加えることも想定している。また、事業の優先順位については、地域懇談会などで意見を伺い、柔軟に対応していきたい。

平成23年3月9日から開会した、第1回熊野町議会定例会には、今後10年間のまちづくりの指針となる「第5次熊野町総合計画」の提案があり、町の将来について質疑が交わされた。その他、諮問が2件、報告が4件、議案が18件提出され、審議の結果全て原案どおり可決した。また、議員からは2件の議案を提出。審議の結果、1件が可決、1件は否決された。

第5次熊野町総合計画

熊野町総合計画とは？

熊野町の今後の発展方向と実施する施策を明らかにしたもので、まちづくりの指針となるもの。今回の第5次総合計画では、将来像の実現に向けて基本的な理念を示す「基本構想」と、取り組む施策の目的や方針を示す「基本計画」で構成している（下図参照）。



条例

- 熊野町部及び課設置条例（全部改正）
町長の直近下位の組織である「部」の事務分掌について規定し、表題を事務分掌条例と改める。
- 熊野町特別会計条例（一部改正）
老人保健医療特別会計を閉鎖。
- 土地開発基金条例（一部改正）
基金の運用収益に関する歳入歳出を、一般会計での整理を可能にするもの。

予算

- 熊野町放課後児童センターの設置及び管理に関する条例（一部改正）
- 熊野町放課後児童クラブ設置運営条例（新規）
第三小北校舎改築整備に伴い、第三児童クラブを地方自治法上、公の施設として位置づけると共に、関係規定を整理。
- 平成23年度予算（一般・特別会計）
次ページに詳細。
- 平成22年度一般会計補正予算
執行残に伴う不要額の減額など、1億4952万1千円の減額。
- Q 農林水産費の700万円の繰り越しは何か。
A 国庫補助が1月末に採択されたもので、呉地地区と初神地区の水路の改修工事を予定している。
- Q 団地2号線の舗装は。
A 現在の続きを平成23年度予算で計上している。国庫補助事業。
- 平成22年度特別会計（国保・下水・後期高齢・介護保険）・水道事業会計補正予算

同意

- 人権擁護委員 向久保 健藏 氏
- 人権擁護委員 木本 禮次郎 氏

報告

- 熊野第三小学校北校舎及び児童クラブ室建替工事請負契約の変更
手洗い場の追加など、校舎の利用状態に即した改修を行うため。
- 時数地区（22-1）污水管渠工事請負契約の変更
下水道管の埋設を、地下埋設物の影響により深くする必要が生じたため。
- 損害賠償の額の報告（2件）

発議

- 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議員報酬を月額約20%減額するもの。上枠内に詳細。
- TPP交渉に反対する意見書
国及び関係機関へ同意意見書を提出。上枠内に詳細。

議員報酬等に関する条例の一部改正案を否決

平成23年4月より議員報酬を概ね月額20%削減すると、議員提案されたが、議会活性化策なども含め、新しい議員において検討すべきであると反対討論があった。採決の結果、賛成少数により否決。

TPP交渉に反対する意見書（一部要約）

国土と産業の均衡ある発展のため、下記事項が実現されるよう要望する。

1. TPP交渉には参加しないこと。
2. FTA・EPA交渉では、将来の食料需給、国土の保全等に十分配慮し、農林水産物の例外品目の確保、国内の関係品目に影響が生じないよう対応すること。